

産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業
【テーマA】教育改善・充実体制整備 最終評価結果

大学グループ名	高知大学グループ
取組名称	中国・四国産業界の人材ニーズに対応した協働型人材育成事業
取組テーマ	1. 協働型キャリア形成支援に係る共通プログラムの開発・試行とその検証 2. 協働型インターンシップのモデルプログラムの開発・試行とその検証 3. 学生の汎用的能力の測定指標の開発・試行とその検証
取組担当者	高知大学 大学教育創造センター・教授 塩崎 俊彦
連携校名 (★幹事校)	鳥取大学、山口大学、★高知大学、鳥取環境大学、山口県立大学、高知県立大学、高知工科大学、徳山大学、梅光学院大学、松山大学、松山東雲女子大学、鳥取短期大学、松山東雲短期大学、高知学園短期大学 (計14校)

事業概要

本事業は、中国・四国地域の人材育成課題としての「自律型人材の育成」と「地域の企業で働くことの意識の醸成」を大学教育のプログラムに埋め込んでいくことを目的に「① 協働型キャリア支援に係る共通プログラムの開発・試行とその検証」、「② 協働型インターンシップのモデルプログラムの開発・試行とその検証」、「③ 学生の汎用的能力の測定指標の開発・試行とその検証」に取り組むものであり、上記の共通プログラムを産業界と大学の協働を通じて開発・試行し、大学の教育改善を図ろうとするものである。※詳細については、<https://olss.cc.kochi-u.ac.jp/cohrd/> を参照。



最終評価結果＜総合評価＞ B

《コメント》

取組テーマの達成目標と成果については、幹事校が持つ知見と仕組みがベースとなり、連携校のプログラム改善につながっている。「中国・四国地区協働型人材育成ネットワーク (CoHRD)」を組織したことにより、広いエリアにわたる連携校において、地域コラボ会と連携する「地域協働型インターンシップ」が進展したことは評価できる。また、取組が学生の目線に立って実施されている点も優れている。

一方で、東京 PBL 合宿について、なぜ東京か、おもてなしは地元の接客業からでも学ぶことはできるのではないかなど、その目的や効果を今一度検証し直す必要がある。この取組は、幹事校が従来から実施しているものであるが、その経験を他大学において普遍化するためにも、事業の十分な検証は不可欠である。今後は、上記の検証を進めるとともに、各地域における大学間連携、産学間連携という本事業の本来の目的に沿った適切なプログラムを構築するために、大学と地域の産業界との話し合いを広げ、連携を強化する努力を期待したい。その上で、地域人材の育成、都市型人材の育成という大きなテーマについて、引き続き考察して頂きたい。